

キルパー由来の活性成分 MITC の ネダニ類に対する殺虫活性



ロビンネダニ



ネダニモドキの一種

写真1 ネダニ類の成虫



ガラス瓶内のガス採取の様子

写真2 室内試験の状況

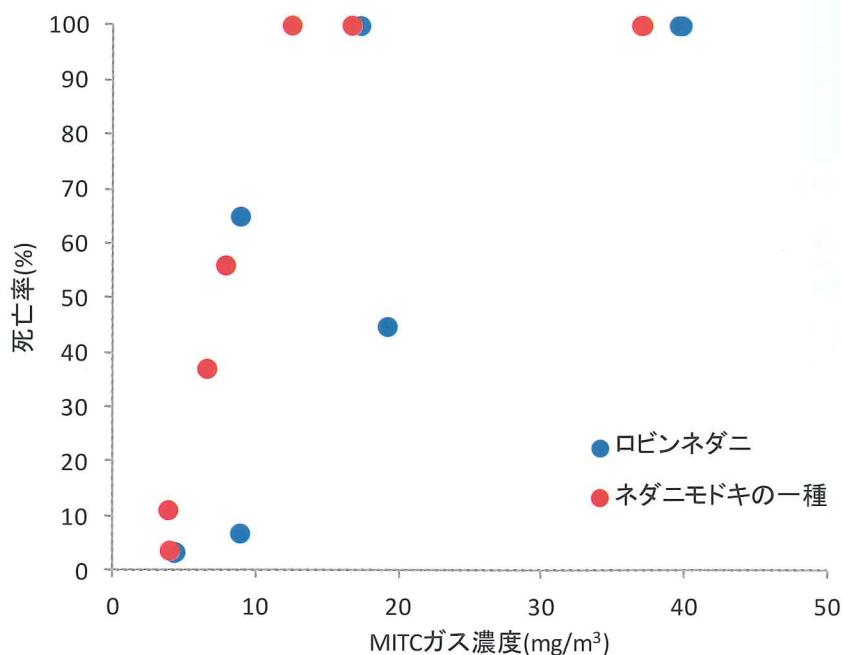


図 1日後の MITC ガス濃度とネダニ類の死亡率

施設栽培ニラのネダニ類防除のため、キルパーの効率的な処理方法を検討しています。キルパーを処理すると、土壤中でメチルイソチオシアネート(以下、MITC)ガスが発生しますが、MITCガスのネダニ類への殺虫活性は明らかになっていません。そこで、ほ場で発生のみられる、ロビンネダニとネダニモドキの一種(写真1)に対する殺虫活性を室内試験において調査しました。

約480mL容のガラス瓶にロビンネダニとネダニモドキの一種の雌成虫30匹をそれぞ

れ入れた後、50、100、200、400ppmのMITC溶液を各100 μ Lずつ添加し、1日後の死亡率とMITCガス濃度を調査しました(写真2)。

その結果、MITCガスの殺虫活性はロビンネダニとネダニモドキの一種の間で大きな差がなく、少なくとも20~40mg/m³のMITCガスに1日暴露されると両種の死亡率がほぼ100%になると考えられました(図)。

今後は、MITCガス濃度や暴露時間についてさらに詳細な試験を実施する予定です。(農薬管理担当 清遠亜沙子 088-863-4915)